

科 目	言語文化	単 位	2 単位	対 象	1 学年 染織デザイン科
使用教科書	高等学校 言語文化 (数研出版)	教科担当者	前 城 いく子		
副教材	○新国語便覧（第一学習社）○セレクト漢字トレーニング（い い ず な 書 店）○解析古典文法・解析古典文法演習ノート（桐原書店）○古文単語 330（尚文出版）○新明説漢文・ノート（い い ず な 書 店）○進研W I N S T E P（現代文1・古典1）（ベネッセ）				
目 標	【知識及び技能】社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、生まれ育った地域の言語文化に対する理解を深める。【思考力・判断力・表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				

1. 学習内容

（1）古文の世界

①古文の世界を楽しむ（『宇治拾遺物語』『竹取物語』） ②随筆文・日記文の世界（『徒然草』『枕草子』『土佐日記』）

③物語文学の世界（『伊勢物語』『平家物語』） ④紀行文の世界（『おくのほそ道』）

⑤異なる考えの比較（『英語で読む百人一首』）

（2）漢文の世界

①日本語の中に生きる漢文（漢文入門） ②読む継がれる歴史（故事成語等）

③漢詩のことば ④論語とその注釈（『論語』）

⑤論説の文章（『雑説』）

（3）古典から現代へ

①受け継がれる古文・漢文（『羅生門』『山月記』） ②ことばの吟味・五感を磨く（『船を編む』『側転と三夏』）

③記録する文学（『沖縄の手記から』）

④詩歌の系譜（『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』と現代詩）

2. 学習のポイント

①古典の世界と現代の世界とで、共通点と相違点があることを理解する。古典に親しむ態度を身につける。

②わからない単語について調べて現代語訳することで、テーマを読み解く態度を養う。

③現代日本語の文法を古語や漢文にあてはめることで、古語や漢文の読みを深める。

④古典の文学作品から現代の文学作品に受け継がれる経過を知ること、古典と現代の文学作品は切り離されたものではなく、連続していることを認識する。

⑤『言語文化』で学んだことが現代の私たちの生活にどのような影響を与えているかという点について、個人やグループで考え発表することで、思考力・判断力・表現力等や学びに向かう力を養う。

3. 評価の方法

次の（1）～（5）を、「知識・及び技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性等」の3観点から、総合的に判断して評価する。

（1）定期考査、実力テスト、その他の週テスト

（2）授業の内容を理解しているか、積極的に授業に取り組んでいるか。

（3）授業のノートやプリントがきちんと整理されているか。

（4）提出物が期限内にきちんと提出されているか。

（5）勤怠状況や、日々の授業態度はどうか。